

新理事者にインタビュー

平成31年度理事者に編集部がインタビューしました。若手会員がどんどん増える中で、会長や副会長がどんな人が知らないという会員も増えていると思います。そこで、このインタビューは、新理事者の出身や趣味、人柄

が分かるようなエピソードを中心に構成しました。何か1つでも共通の話題があれば、新理事者に話しかけやすいと思いますし、気軽に声をかけるきっかけになれば幸いです。

会長 関谷 文隆 (44期)
●Fumitaka Sekiya

Q 会長として実現したいことは何ですか？どんな会長になりたいですか？

A 笠井前会長の政策を引継ぎ、二弁と会員の結び付きをより強固なものにしたい。特に若手と組織内弁護士を重視したいと思います。

弁護士会は、法の支配の確立と人権擁護のため、様々な領域で努力している会員の活動の助けとなる存在でなければならないと考えています。JILAには若手も多いので、連携を深め、よく意見を聞いて、例えば公益活動の範囲拡大や、スカイプ利用による委員会活動への参加など、弁護士会との関わりの機会を増やす努力を推進していきたいと考えています。

会長選挙では、投票率40%以上になるよう頑張りましたが、届かなかったことが残念です。来年は日弁連会長選挙の年でもあるので、会員の会務に対する関心を高める工夫をして、盛り上げていきたいと思っています。

Q 二弁、日弁連の今年度のトピックは何ですか？

A 二弁では、昨年度から始まったNIBEN

若手フォーラムの更なる充実です。前年度からの引継ぎテーマも幾つかあります。

日弁連では、FATFの第4次対日相互審査が秋に予定されています。弁護士会がきちんと対応しなければ、政府が業務に介入する余地を与えることになるため、弁護士自治を守る観点からも、誠実に政府に対応する姿勢が必要だと考えています。当会は、伊東会長時代から積極的に対応を進めているので、しっかりと準備を進めていきたいと思っています。

Q ご出身はどちらですか？

A 東京生まれ、栃木県那須塩原市育ち。両親は東京で結婚し、私も東京で生まれたのですが、まもなく母方の祖父が倒れ、急きょ両親がその家業（酒の小売りと納豆製造）を継ぐことになり、母の実家のある那須塩原で幼少時から高校卒業まで過ごしました。

Q 出身高校・出身大学はどちらですか？

A 栃木県立大田原高等学校。早稲田大学法学部。

Q 家業を継ぐことは考えなかったのですか？

A 休みのない商売をしたくなかったこともあり、小さい頃から医師になりたいと思っていましたが、算数が苦手な断念しました。小学校4年生の頃、弁護士が出ていたTVドラ



関谷文隆会長

があったからなんです。

A そうなのですが、宇都宮を断ったため、今度は、二回試験直前になっても就職が決まっていなかったというピンチに陥りました。しかし、その年の12月に、友人の結婚式に出席したときに、大学の同級生の弁護士から、現在の所属事務所の前身である重富・古山法律事務所を紹介してもらい、たまたま同所は兄弁が4月に独立するタイミングで、運よく雇ってもらえることになりました。

Q やっていたスポーツや部活動は何でしたか？

A 高校では、書道部と詩吟部でした。書道は母が、詩吟は祖母がやっていたので、影響されたようです。大学では、男声合唱団（早稲田大学コール・フリューゲル）でした。きっかけは入学式後に、先輩から、「小澤征爾の指揮でマーラーをやらないか」と誘われたからです。マーラーの大ファンでした。

Q 学生時代の思い出を1つ教えてください。

A 小澤征爾指揮、新日本フィルハーモニー交響楽団演奏で、マーラー交響曲第8番『千人の交響曲』に合唱で参加したことです。小澤征爾の指揮に震えました。

Q 家族構成は？

A 妻と娘、息子の3人。娘は、社会人で会社に勤めていますが、最近家を出て近所で一人暮らしを始めました。息子は、九州の大学に行っていたのですが、4月から慶応のロースクールに通うため帰京することになり、妻が喜んでます。

Q 趣味は何ですか？

A ガーデニング、競馬、落語鑑賞、音楽鑑賞です。昔から植物が好きで、蘇我のマンションに住んでいた頃から、鉢植えを育てており、現在は、自宅の庭でガーデニングを

マに感化されて、弁護士になりたいと思うようになりました。更に、中学に入ってから、世を騒がせたロッキード事件があり、「巨悪を許さない」検察官に憧れ、法学部を目指し、司法試験に臨みました。

Q なぜ検事ではなく弁護士になったのですか？

A 修習中にJかPかBかどれにしようか相当迷い、後期の検察教官からはありがたいお誘いがありましたが、結局、弁護士が一番面白そうだと思い、検事にはなりませんでした。

Q 東京で弁護士をやることになったきっかけは？

A 指輪事件があったからです。私は修習後期で結婚し、妻と千葉県の蘇我のマンションで新婚生活を送っていました。妻は当時木更津の実家の家業の手伝いをしていました。私は、妻に相談もせず、修習でお世話になった宇都宮の弁護士事務所に就職を決めました。妻に告げたところ、ある日研修所から帰宅すると妻がおらず、化粧台には、結婚指輪がポツンと置かれていました。二回試験の直前でした。私はあわてて木更津の実家に連れ戻しに向かい、東京で弁護士になることを約束しました。

Q 二弁の会長になったのは、指輪事件



5月の自宅。バラとエニシダとフジの中にあるのが愛犬ロン(ブリタニー)

しています。

Q 特技は何ですか？

A 料理です。週末は、私が家族のために料理を作ります。得意な料理は、スモークチキンです。

Q 尊敬する人物はどなたですか？

A 勝海舟。もともと身分が低く、苦勞しながら勉強して、幕末には江戸城無血開城という大事を成し遂げ、明治の代には、その慶喜の復権に尽力しました。死ぬときには、「コレデオシマイ」。渋いなあ。

Q 愛読書は何ですか？

A 北方謙三、宮城谷昌光などの歴史小説や『キングダム』、『達人伝』などのコミックスです。『キングダム』は、新しいコミックスが出ると自動的にダウンロードするように設定しています。

Q 楽しかった旅行の思い出は何ですか？

A 2012年に澤井会長はじめ同期理事者で行ったフランス、2017年に家内で行ったクロアチアが特に楽しかった思い出です。

Q 人からよく指摘されるクセはありますか？

A 「口調が嘸家のようだ」と言われます。

Q ご自身の長所、短所は何ですか？

A 長所は、明るいところかな。短所は、沢山ありますが、人の話の腰を折りがちなところが自分でも嫌。

Q もしあと1週間しか生きられないとすると、何がしたいですか？

A 妻と旅行をしたい。昔行ったことのある景色のいいところがいいですね。ハワイとかイタリアとかフランスの思い出の場所。

Q 生まれ変わったら、また弁護士になりたいですか？

A クジラになりたいので、弁護士にはなりません。

Q なぜクジラ？

A 最強の動物だからです。その中でも一番でかいシロナガスクジラになって、世界の海を泳ぎ回りたい。

42

副会長 水上洋 (47期)

●Hiroshi Mizukami

Q 普段の業務内容や会務活動(二弁、日弁連、その他)について教えてください。

A 二弁では、いくつかの委員会に所属してきましたが、若手の頃に力を入れていたのは子どもの権利に関する委員会です。日弁連でも、子どもの権利委員会や全面的国選付添人制度実現本部に所属していました。また、法曹養成には継続的に携わってきました。司法研修所の所付を務めた後、立教大学法務研究科の教員として実務系科目を担当し、2014年からは司法研修所の刑事弁護教官を務めました。教官は、敬愛する神山啓史先生(二弁)と同じ代でした。

弁護士業務は、個人の事件も企業法務も幅広く取り扱っています。小さな事務所なので、私が副会長となることで負担をかけている事務所の弁護士と事務員には、感謝しています。

Q 副会長として実現したいことは何ですか？どんな副会長になりたいですか？

A 二弁の筆頭副会長として、人事、総



水上洋副会長

務、常議員会、総会などを担当します。働き方改革関連法も施行されましたが、二弁の職員が十分に力を発揮できる、働きやすい環境を整えるために、少しでも貢献したいと思っています。

担当外では、NIBEN若手フォーラムの活躍に期待しています。若手会員が時代に相応しい活躍をするために二弁ができることは何か、若手からみて魅力のある弁護士会であるためにできることは何か、この1年、考えていきたいと思っています。

Q 出身高校・出身大学はどちらですか？

A 駒場東邦高校、東京大学法学部です。

Q 修習地はどちらですか？

A 那覇です。指導担当弁護士の先生と最初にお会いしたとき「これを読みなさい」と渡されたのが『鉄の暴風』（沖縄タイムス社編）でした。戦前生まれの先生がご自身の戦時中の体験をお話しされたのは、ごく限られた機会でしたが、深く印象に残っています。私が弁護士になってからも、泡盛をいただいたり、私がお挨拶に伺ったりと、長くお付き合いいただいています。修習中は、プライベートでダイビングをしたり、離島を巡ったり、三線を習ったりしていました。沖縄で様々な方と出会い、自然や文化に触れたことは、私

の大きな財産になっています。

Q 愛読書は何ですか？

A 中国の古典など繰り返し読む本はありますが、愛読書といえるほどのものはありません。この1年で読んだ中では、『ホモ・デウス』（ユヴァル・ノア・ハラリ）が面白かったです。

Q ご家族は、副会長になられたことについて何と言っていますか？

A 最初に相談したときは、「よく考えなさい」

と言われました。決心した後は、「世のため人のために頑張りなさい」と言われました。

Q 生まれ変わったら、また弁護士になりたいですか？

A 生まれ変わった時代や環境にもよるので、何とも分かりません。自分が心から楽しめる分野の研究に没頭できるような生活を送ることができたら、それも幸せかなと思います。

副会長 八杖 友一 (49期)
● Yuichi Yatsue

Q 副会長として実現したいことは何ですか？どんな副会長になりたいですか？

A 実現したいのは、権利擁護のために、社会の隅々まで法の支配を行き渡らせることです。法の支配の担い手である弁護士の活動領域の拡大にも力を入れていきたいです。また、会長、他の役員、会員、事務局に信頼される副会長でありたいと考えています。

Q ご出身地、出身高校・出身大学、修習地はどちらですか？

A 出身は群馬県（生後6か月間だけです）で、小中で5年ほど大阪、あとは主に埼玉



八杖友一副会長

と東京です。小学校3つ、中学校2つと、転校が多かったことが、自分の性格形成に影響を与えていると思います。出身校は都立青山高等学校、早稲田大学法学部、修習地は静岡です。

Q やっていたスポーツや部活動は何でしたか？

A テニス、バドミントン、オーケストラ（バイオリン担当）などです。バイオリンは下手の横好きなのですが、子どもの頃から続けています。テニス・バドミントンは部活でやっていましたが、修習時代に腰を痛めてからはあまりやっていません。腰痛は、最近ではゴルフをやる言い訳にもなっていますが（笑）。

Q 趣味は何ですか？

A 料理をすることや、バイオリンを弾くこと（メンバーの多くが法曹である「アンサンブル・フォー・ユー」に所属）、阪神タイガースの応援、犬（パピヨン）の散歩などです。阪神タイガースは、父がファンだったので、自分も子どもの頃からファンでした。小学生の頃大阪に引っ越して、阪神の本場に来たと喜んでいたら、実は、大阪でも半分は巨人ファンと知って驚きました。また、去年、健康診断でメタボと診断されてしまったので、犬の

散歩や『Pokémon GO』などでダイエットに励んでいます。

Q 好きな食べ物は何かですか？

A 妻の作る肉じゃが、ひじき、豚汁などが美味しいですね。

Q 得意料理は何ですか？

A 色々作ります。クッキーやケーキなどお菓子も作ります。実務修習で初めて一人暮らしをしたとき、自炊にハマり、料理が趣味になりました。修習時代には検察官や裁判官を自宅に招いて料理を振舞ったこともあるんですよ。今でもたまに料理をしています。普段とは違う凝ったレシピになることが多いので、家族にも喜ばれています（と思っています）。

Q 楽しかった旅行の思い出は何ですか？

A エジプトのギザにあるクフ王のピラミッドの中に入ったこと。スイスで雨模様の中、山頂に出たら快晴で雲海が広がっていたこと。それと、息子とのキャンプ。もともと歴史や考古学が大好きで、修習の少し前に初めての海外旅行に行った際、小さい頃か行きたかったエジプトを選びました。考古学が面白い地域は治安の問題があり、家族連れでは行きづらいのが難点です。

Q 家族構成は？

A 妻、息子2人。

Q ご家族は、副会長になられたことについて何と言っていますか？

A 「犬の散歩は誰がやるの？」と（笑）。

Q 家族構成は？

A 妻、息子2人。

Q ご家族は、副会長になられたことについて何と言っていますか？

A 「犬の散歩は誰がやるの？」と（笑）。

Q 生まれ変わったら、また弁護士になりたいですか？

A どうでしょうか。弁護士は大変やりがいのある仕事だと思います。弁護士会の活動をしていると、弁護士資格を持っていることで、様々なことができ、弁護士は、色々な

分野に活動の範囲を広げていくことができるということが分かります。その意味で、弁護士の仕事はとても魅力的です。他方で、全く違うことをしたいという思いもあります。もし生まれ変われるとしたら、昔からの夢であった考古学者になって黙々と発掘したり、研究したりしたいですね。 〇

副会長 田上 昭子 (54期)
●Akiko Tanoue

Q どんな副会長になりたいですか？

A 会員の孤立化を防ぐために、様々な会員の声に耳を傾けたいと思っています。また、弁護士会が果たすべき役割について、常に考えながら、周囲と円滑に協力し、一丸となって、誠実に問題解決や制度改善に努めたいと思います。

Q 出身高校・出身大学はどちらですか？

A とともに学習院です。

Q 修習地はどちらですか？

A 大阪です。東京で生まれ育ったのですが、修習地を決めるための面接で、面接官から、地方行きが濃厚かのような話が出たので、行くなら北よりも暖かい西の方が良いと答えたところ、大阪になりました。修習中は、大阪という土地柄、検事が開催してくれた焼肉パーティーに同期と参加したり、検察修習の先生や裁判教官の関西にあるご自宅に遊びに行ったりと、満喫しました。同期と和歌山に旅行に行ったことも良い思い出になっています。修習の同期とは今でも付き合いがあります。

Q やっていたスポーツや部活動は何でしたか？

A 中高でバドミントン部に入り、大学以降はテニスをやっています。バド

ミントン部では、走り込みが多く、中高時代の部活の思い出は、ただただつらい練習を耐え抜いたなあということです。テニスは現在でも続けており、会派で開催されるテニスの練習や大会には参加したことがあります。

Q 得意料理は何ですか？

A 冷蔵庫にあるもので、いかに時間をかけずに簡単に複数の種類の料理を作るか、という時短料理が趣味です。料理本やネットなどは見ずに、自分であれこれと考えて作っています。得意かどうかは別にして、特に、一時期よく作っていたのはシーフードグラタンで、クリーミーなものが好物です。グラタンを作るのは手間がかかりそうと思われるかもしれませんが、案外、簡単です。

Q 好きな有名人はどなたですか？

A 特にこれといって浮かびませんが、あえて言うなら、ユーミンは昔からずっと好きでした。歌も、その生き様も好きで、高校まではライブにも行っていました。昨年末の紅白に出演していたのをうれしく見ていました。

Q 楽しかった旅行の思い出は何ですか？

A 一番覚えているのは、司法試験合格後に母と訪れた、フランスでしょうか。それ



田上昭子副会長

まで海外に行ったことがなかったということもありますし、ロワール観光で訪れた古城がとても素敵で、印象深い思い出になりました。

その後も、当会や会派の海外旅行には、都合がつけば参加しており、特にタスマニア旅行は、自分では行かないような地方なので、印象に残っています。

Q 自分を動物に例えると？

A 亀です。マイペースに生きているところを見るとなんだかうれしくなりますし、そこが自分と似ているような気がします。

Q 生まれ変わったら、また弁護士になりたいですか？

A 半分半分です。自分の裁量で物事を決められるのが、この仕事の醍醐味だと思っています。

Q 弁護士でなければ、何になりたかったですか？

A NHKスペシャルの番組製作スタッフ(裏方)をやってみたいです。様々な社会問題に対し、独自取材で切り込んでいく内容を見て、面白そうだな、自分もやってみたいなと思いました。 **■**

副会長 藤田 裕 (55期)
● Yutaka Fujita

Q ご出身はどちらですか？

A 千葉県千葉市です。高校まで千葉の学校(千葉市立稲毛高等学校)に通っており、大学は法政大学に進みましたが、千葉の実家から通っていました。ただ私としては、埋立地の人工感など、千葉があまり好きではなく、早く千葉を出たいと思っていましたので、千葉で仕事をするということはあまり考えていませんでした。

Q 修習地はどちらですか？

A 千葉を出たいという思いと横浜への憧れがあり、修習地は横浜を選びました。横浜には、歴代の修習生が作ったグルメマップというものがあり、修習仲間と昼夜、それらを巡ったのが思い出に残っています。

Q 趣味は何ですか？

A スキーや釣りのほか、北軽井沢、静岡、千葉など色々なキャンプ場にキャンプに行っています。

それから、いわゆる「ポケ活」とも言われますが、子どもと一緒に『Pokémon GO』をやっています。子どもと一緒に珍しいポケモンがもらえるレイドというイベントに挑戦したり、地域限定のポケモンをゲットしに横須賀のイベントに参加したりもしています。現在図鑑には、459匹登録されています。いつも家に帰ると子どもと、「今日こんなポケモンを捕まえたよ」と話をするのが日課になっています。

Q 尊敬する人物はどなたですか？

A 『遙かなる山の呼び声』、『幸福の黄色いハンカチ』など山田洋次監督の映画が好きで、尊敬しています。特に『男はつらいよ』シリーズが大好きです。旅をしていくという設定が好きです。

また、『転校生』『時をかける少女』『さびしんぼう』の尾道三部作など、大林宣彦監督の映画も好きです。海外でいえば、『エレファント・マン』などデヴィッド・リンチの映画も好きです。

音楽界では、プリンスが大好きで、昔横浜でのコンサートに一緒に行ってくれる人が誰もいなくて、一人で行ったことがあります。亡くなったときは本当にショックを受けました。今でも毎日聴いています。

Q 愛読書は何ですか？

A 平井和正の『幻魔大戦』です。中学校時代に読んでしまったのを、最近電子書籍で見つけて、読み直しています。かれこれ3、4回は読んでいます。

Q 好きな食べ物は何かですか？

A グラタンとケンタッキーフライドチキンのオリジナルチキンです。

グラタンは、妻がマカロニ嫌いなので家では食べないのですが、ファミレスなどに行ったときはいつも注文しています。

ケンタッキーは、高校のときにA型肝炎にかかって入院し食事制限を受けていたころに



藤田裕副会長

「ケンタッキー食べたいなあ」とずっと思っていた反動なのか、今でも大好きです。特に皮が大好きです。

Q ペットは飼っていますか？

A 実家で猫を飼っており、物心ついたときから猫が近くにいました。ただ、大人になって調べたら、猫アレルギーだったということが判明してびっくりしました。

Q もしあと1週間しか生きられないとすると、何がしたいですか？

A ただただ家族と一緒に時間を過ごせばいいなと思います。

Q 生まれ変わったら、また弁護士になりたいですか？

A 弁護士もいいですが、ワイン作りなど何か物を生産する仕事もやってみたいなと思います。建築関係の事件を取り扱うこともありますが、建築関係のお仕事も面白そうだなと思います。

■

副会長 中村 仁志 (55期)
●Hitoshi Nakamura

Q 副会長として実現したいことは何ですか？どんな副会長になりたいですか？

A まずはしっかりと自身の業務を滞らせないように、全力を尽くして頑張りたいと思っています。

Q 出身高校・出身大学はどちらですか？

A 早稲田実業学校、早稲田大学法学部です。

Q 修習地はどちらですか？

A 秋田です。修習生は、男3人、女1人のわずか4人のクラスでした。

弁護士会や裁判所の懇親会や合宿も今より盛んで、野球大会、スキー合宿などにも参加しました。また、

修習中に、9.11のテロが起きて、入管修習が取りやめになったのも非常に印象に残っています。

もともと検察官志望で、検察教官にもわざわざ秋田まで来ていただいて誘われたのですが、寒い地域への転勤がつかったことや、秋田の弁護士修習先の先生の精力的な活動を見て、弁護士になりました。

Q やっていたスポーツや部活動は何でしたか？

A 小学校の頃は地域の少年野球をやっていましたが、転校を機にサッカーを始めました。中学に入ってから、友人の誘いで軟式テニスを始めて、高校でも続け、大学入学後は硬式テニスを始めました。

Q 学生時代の思い出を1つ教えてください。

A 大学3年くらいから司法試験を目指し始めたのですが、大学4年になった頃に、択一模試を受けてみたところ、散々な出来だったので、試験当日は結局受験せずに、同じく試験を受けなかった友人と一緒に家でずっと飲んでたことを思い出します。

Q 趣味は何ですか？

A 子どもが興味を持ったものを一緒にやり始めて、テニスにゴルフ、囲碁に剣道な

どもやっています。剣道は二段を取り、昨年は故大貫裕仁先生が立ち上げた東京三弁護士会剣友会の稽古にも参加させていただきました。また最近では、妻と共通の趣味を作ろうということで乗馬も始めました。

Q 好きな食べ物は何かですか？

A 基本的には何でも食べますが、小さい頃からキュウリが何故か苦手です。最近では健康のためにも和食が多いです。

お酒も結構好きですが、過去に飲み過ぎて帰りの電車で眠ってしまい、気が付いたら家から遠く離れた駅ということがありました。妻に、「次、お酒飲みすぎたら別れるから」と言われたので以後気を付けています。

Q 楽しかった旅行の思い出は何ですか？

A 家族旅行で三重県の赤目四十八滝というところで忍者修行したこと、それから息子との2人旅が思い出に残っています。忍者修行は、忍者の服を着て、手裏剣を投げたりと、子どもも大人も楽しめました。息子とは、秋田の乳頭温泉、沖縄、大島、軽井沢などに行きました。出張に息子を連れて行って、打合せや裁判の間は、図書館等で待たせて、その後一緒に観光をすることもありました。

Q ペットは飼っていますか？

A 2、3年前から、猫を2匹飼っています。妻が飼いたいと言ったため、福島で野良になってしまった猫を保護している団体から、仲がいいからと2匹同時にもらい受けて飼っています。名前は「サチ」と「ユキ」です。私は「あんこ」と「きなこ」にしたかったのですが、家族の多数決で決まりました。

Q 生まれ変わったら、また弁護士になりたいですか？

A 弁護士もいいけれど、違う仕事もやってみたいです。歴史が好きで、高校の頃に進路として考えたこともある、考古学者になってみたいです。

副会長 藤井 麻莉 (59期)
●Mari Fujii

Q 副会長として実現したいことは何ですか？どんな副会長になりたいですか？

A ダイバーシティを重視しています。様々なバックグラウンドを持つ会員のニーズに応える、効率よく参加しやすい会務のあり方を促進したいと思います。

Q ご出身地、出身高校・出身大学、修習地はどちらですか？

A 東京都出身です。父の転勤で、小学校5年生まで3年間札幌にいました。学校は中学から慶應、修習地は東京です。

Q やっていたスポーツや部活動は何でしたか？

A 中学では、バレーボール部と器楽部（オーケストラ、チェロ担当）に所属していました。

高校からは汗をかきたくなかったので（笑）、ゴルフ部に入りました。大学でもゴルフサークルに所属していました。

Q 趣味は何ですか？



中村仁志副会長

A トライアスロン、オペラ鑑賞、ホームパーティー、ゴルフ、刺しゅう、子育て本読書です。

トライアスロンは、子どもを3人産んで子育てに必要な体力作りにと、アクアスロン（水泳＋長距離走）に誘われたことがきっかけで始めました。どうせなら、トライアスロンまでやらないと中途半端だと思ひまして。今はフルマラソンも走ります。

オペラは、ワーグナーが大好きな主人の影響です。新婚旅行はミラノのスカラ座で『椿姫』を観ました。

ホームパーティーは、家族それぞれの友人を招いてBBQをします。主人と子どもたちがおもてなし好きなので。主人との出会いも、実はホームパーティーだったんです。

Q 家族構成は？

A 夫、小学生の長男と次男、幼稚園児の長女の5人家族です。

Q 特技は何ですか？

A 予定を立てること、旅行の計画を立てること、忘れること、娘の髪を編み込みです。

「忘れること」というのは、子どもが「パパのいいところは優しいところ」というので「ママのいいところは？」と聞いたら「忘れっぽいから、いつも明るいところがいい感じだよ」と（笑）。

Q 楽しかった旅行の思い出は何ですか？

A 2年前のシドニー、メルボルン、タスマニアの旅と、印象に残ったのは医師である主人の診療について行ったカンボジアです。

カンボジアでは、ポル・ポト政権下で知識階級が虐殺されてしまったせいで、一定の世代の医師や弁護士が本当にいないんです。地方の子どもたちは全く診療が受けられず、歯もボロボ

ロで、大きな病気になっている子どもも多くいました。NPOが学校を作って、子どもたちが通うようになって初めて医療へのアクセスもできて診療が受けられるんです。自分が現地で直接何かするというのではなく、現場には現場のプロがいるので、それを支援する方が役に立てるということも知りました。

Q ご家族は、副会長になられたことについて何と言っていますか？

A 主人は、せっかくの機会なので1年間楽しんで、一生懸命務めるようにと。

子どもも、忙しくなることは認識しているようです。

Q 生まれ変わったら、また弁護士になりたいですか？

A 弁護士も楽しいのですが、生まれ変わるならバレリーナになってみたいです。

バレリーナは鍛錬を重ね、研ぎ澄まされているところが好きです。自分がバレエをやることはなかったのですが、娘がやっているのを見るのが幸せです。 NIBEN



藤井麻莉副会長